

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2022 年 10 月号

2022 年 10 月 3 日
(一財) マイクロマシンセンター
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

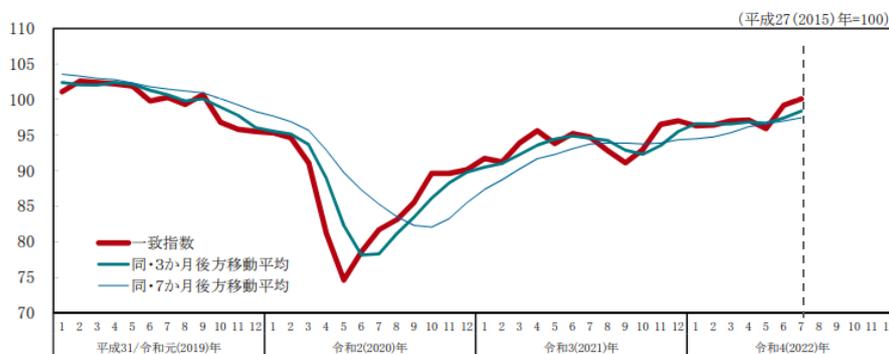
■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和 4 (2022) 年 7 月分速報からの改訂状況 (令和 4(2022)年 9 月 28 日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202207rsummary.pdf>

- ① 7 月分 CI (平成 27(2015)年 = 100) (改訂値)は、
先行指数：98.9、一致指数：100.1、遅行指数：97.4
- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (CI 一致指数) は、改善を示している。

	7 月分 C I (平成 27 (2015) 年 = 100)	
	速報	改訂
先行指数	99.6	98.9
一致指数	100.6	100.1
遅行指数	97.5	97.4

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和 4 (2022) 年 7 月分 (速報) (9 月 7 日公表)」 pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202207psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202207report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（9月）（内閣府、令和4年9月30日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/09kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

- ・ 景気は、緩やかに持ち直している。

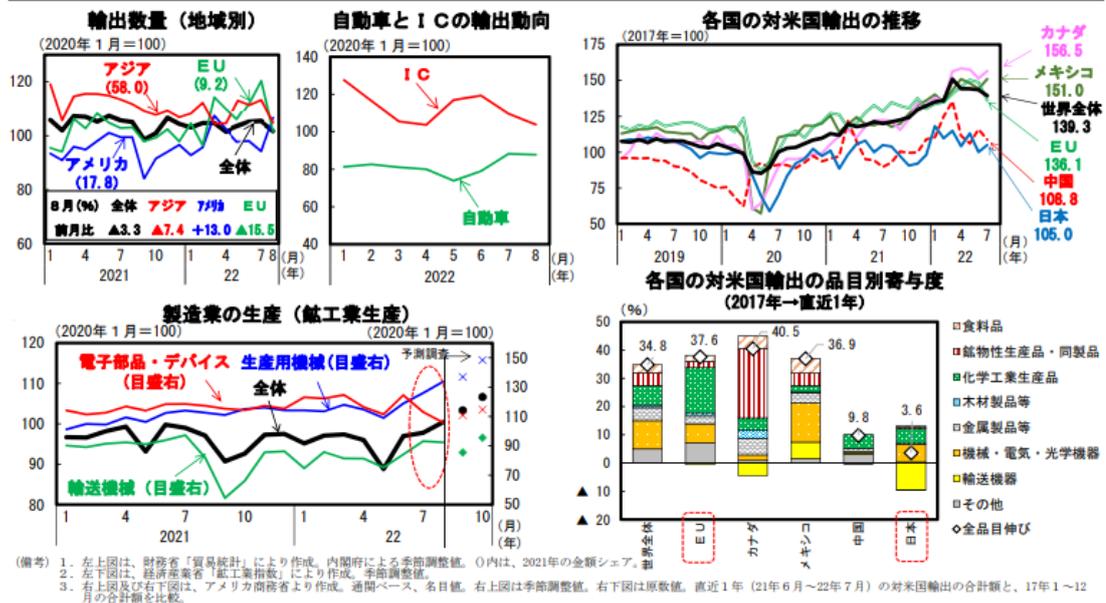
（先行き）

- ・ 先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。

ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある

今月の指標(3) 生産・輸出

- ▶ 我が国の輸出は、全体としては概ね横ばい。自動車は供給制約の緩和から持ち直しているが、世界的なP・C・スマホ需要の一服等を背景にICは弱含み。
- ▶ 製造業の生産は、ICなどの電子部品・デバイスが横ばいに転じる一方、設備投資向けの資本財は緩やかに増加しており、全体として持ち直しの動き。
- ▶ 我が国最大の輸出先の一つである米国向け輸出の動向をみると、日本は相対的に伸び悩み。EUは医療用品等の化学工業製品の寄与が高い。日本は半導体製造装置、建設用・鉱山用機械等の機械機器に競争力を有するが、主力の自動車がマイナス寄与。



- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和4年9月）」（pdf）：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/0930getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

■ 設備投資 令和4年7月実績：機械受注統計調査報告
 (令和4年9月14日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

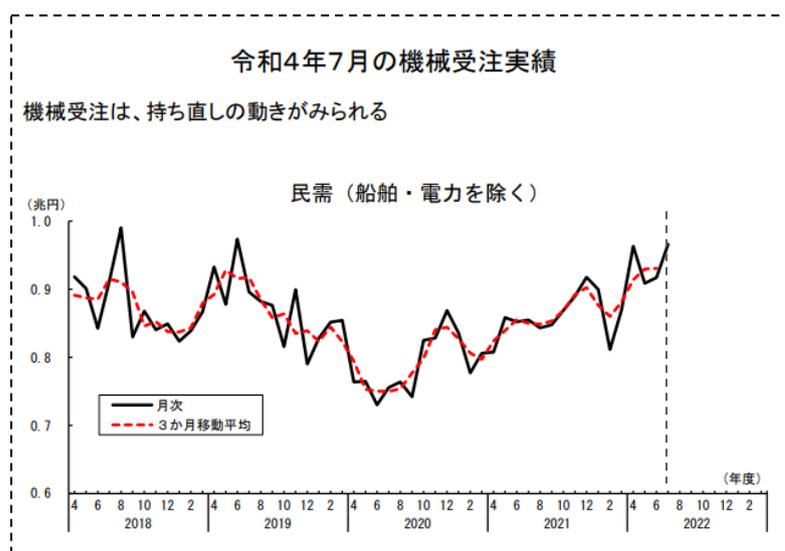
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2207juchu.html>

調査結果の概要 (季節調整値) :

1. 機械受注総額の動向をみると、
2022 (令和4) 年6月前月比2.2%減の後、7月は同0.3%増の2兆9,674億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比6.2%増の1兆1,340億円、官公需は同18.4%減の2,190億円、
外需は同2.4%減の1兆5,033億円、代理店は同4.7%減の1,143億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2022 (令和4) 年6月前月比0.9%増の後、7月は同5.3%増の9,660億円となった。
このうち、製造業は同5.4%減の4,506億円、非製造業 (除く船舶・電力) は同15.1%増の5,176億円となった。

(以下図表は「令和4年7月の機械受注実績 概要 (PDF版)」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2207gaiyou.pdf>



対前月(期)比 (単位:%)

期・月 需要者	2021年 (令和3年)		2022年 (令和4年)			2022年 (令和4年)			
	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 見通し	4月 実績	5月 実績	6月 実績	7月 実績
受注総額	1.5	9.0	△9.7	21.0	△3.0	33.6	△10.1	△2.2	0.3
民需	△0.9	14.1	△13.9	14.3	△4.5	23.8	△9.0	2.2	6.2
“(船舶・電力を除く)”	1.1	5.1	△3.6	8.1	△1.8	10.8	△5.6	0.9	5.3
製造業	7.2	3.1	0.8	9.1	△4.5	10.3	△9.8	5.4	△5.4
非製造業(除船・電)	△3.6	6.8	△8.1	7.6	△1.5	8.9	△4.1	△0.0	15.1
官公需	5.9	3.6	△2.8	7.0	△15.5	△6.6	△20.1	0.3	△18.4
外需	4.1	1.7	△6.6	31.4	△0.8	52.1	△2.4	△4.6	△2.4
代理店	2.0	1.4	△11.3	11.7	15.5	3.7	4.1	△5.1	△4.7
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	3.7	1.7	0.1	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. △印は減少を示す。
 3. 見通しは2022年6月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2022年9月30日発表)

【2022年8月分】鉱工業指数の動向(速報)より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202208sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202208sj.html

ー 生産は緩やかな持ち直しの動き ー

- ・ 今月は生産、出荷、在庫は上昇、在庫率は低下であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、9月、10月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は緩やかな持ち直しの動きで推移している。

・生産は、前月比2.7%の上昇。

上昇業種：生産用機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業、
化学工業(除、無機・有機化学工業・医薬品)等
低下業種：電子部品・デバイス工業、自動車工業、無機・有機化学工業等

・出荷は、前月比1.9%の上昇。

上昇業種：自動車工業、生産用機械工業、石油・石炭製品工業等
低下業種：輸送機械工業(除、自動車工業)、電子部品・デバイス工業、
無機・有機化学工業等

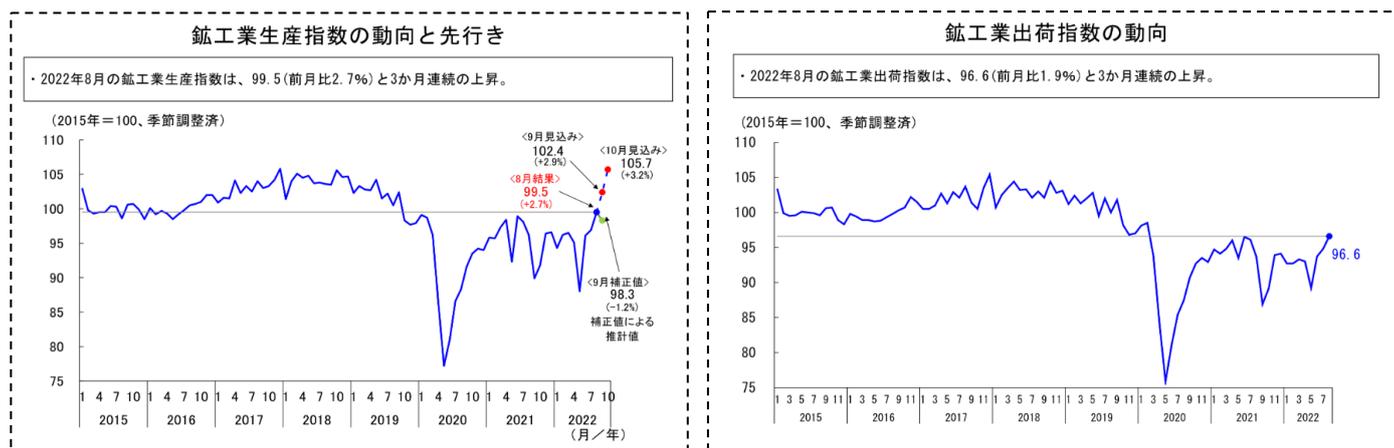
・在庫は、前月比1.4%の上昇。

上昇業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業等
低下業種：石油・石炭製品工業、その他工業、窯業・土石製品工業等

8月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20220930_1.html

(解説) 8月の鉱工業生産は、電子部品・デバイス工業等が低下したものの、部材供給不足の影響が緩和したことなどをを受けて、多くの業種が上昇したことから、全体として前月比2.7%と、3か月連続の上昇。基調判断は、「生産は緩やかな持ち直しの動き」に引き上げ。



3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2022年9月30日発表より抜粋)

【2022年7月動向概況】

- ・ 2022年7月のグローバル出荷額は
3,706億円、前年比103.8%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は
受動部品 (前年比101.1% 1,760億円)、接続部品 (同112.9% 961億円)、
変換部品 (同108.6% 565億円)、その他の電子部品 (同91.6% 418億円) となった。
- ・ 地域別出荷は
日本 (前年比93.4% 749億円)、米州 (同128.2% 429億円)、
欧州 (同111.0% 340億円)、中国 (同100.7% 1,386億円)、
アジア・その他 (同106.1% 795億円) となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2022.09.30発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2022年度						2022年度累計		
	5月		6月		7月		4月-7月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,430	107	3,791	108	3,706	103	14,381	104	
(日本)	645	99	748	97	749	93	2,861	97	
品目別	受動部品	1,735	108	1,911	111	1,760	101	7,120	105
	コンデンサ	1,247	109	1,373	113	1,229	99	5,063	105
	抵抗器	157	110	180	112	174	111	675	110
	トランス	39	115	45	124	46	132	172	121
	インダクタ	247	103	269	98	263	98	1,034	99
	その他	43	107	42	103	45	111	174	110
	接続部品	836	112	945	114	961	112	3,540	109
	スイッチ	302	106	348	108	343	107	1,296	103
	コネクタ	530	115	594	118	614	115	2,231	113
	その他	3	116	3	105	3	120	12	108
	変換部品	481	115	501	110	565	108	2,064	110
	音響部品	21	79	22	75	25	94	92	82
	センサ	199	100	205	90	212	93	821	94
	アクチュエータ	260	134	273	139	327	123	1,151	130
	その他の電子部品	378	89	432	86	418	91	1,654	87
	電源部品	177	99	213	111	205	113	767	103
高周波部品	200	82	219	70	213	77	887	76	

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2022年度»

地域別出荷金額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	5月		6月		7月		4月-7月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,430	107	3,791	108	3,706	103	14,381	104
日本	645	99	748	97	749	93	2,861	97
米州	406	128	441	126	429	128	1,680	126
欧州	374	116	378	110	340	111	1,431	109
中国	1,215	98	1,442	107	1,386	100	5,186	97
アジア他	789	118	776	111	795	106	3,211	112

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上